

議会だより



No. 104

平成28年4月28日
発行 大分県日出町議会
電話 0977-73-3135

とよだ まゆ
題字は大神中3年 豊田 真由 さんです



目次

津久見高校 海洋科学学校の生徒によるまぐろ解体ショー（大神魚市場感謝祭）

3月定例会

- 予算常任委員会 2
- 地方創生事業と新規事業 4
- 委員会報告 6
総務産業常任委員会・福祉文教常任委員会
- 議員活性化への取り組み 8
- 7人が町政全般を質す 9
一般質問
- 町民の声 16



議員が編集した手づくり議会だよりです

議会などの審議の記録は町のホームページでもご覧いただけます。

平成28年 3月定例会

3月定例会は、2月29日から3月18日までの会期で開かれました。

初日の本会議では、町長から、施政方針を含めた議案に対する提案理由の説明が行われ、28年度一般会計をはじめとする予算関連議案と条例改正など議案33件、承認2件など19日間にわたり慎重に審議し可決しました。

正副議長改選

議長及び副議長の辞任に伴い選挙が行われ、議長に白水昭義議員、副議長に佐藤隆信議員が就任しました。さらに予算常任委員会を除く2つの常任委員会の委員が入れ替わり、総務産業委員長に森昭人議員、副委員長に上野満議員、福祉文教委員長に金元正生議員、副委員長に岡山栄蔵議員が互選されました。また予算常任委員会では、委員長に土田亮治議員、副委員長に川西求一議員が互選されました。

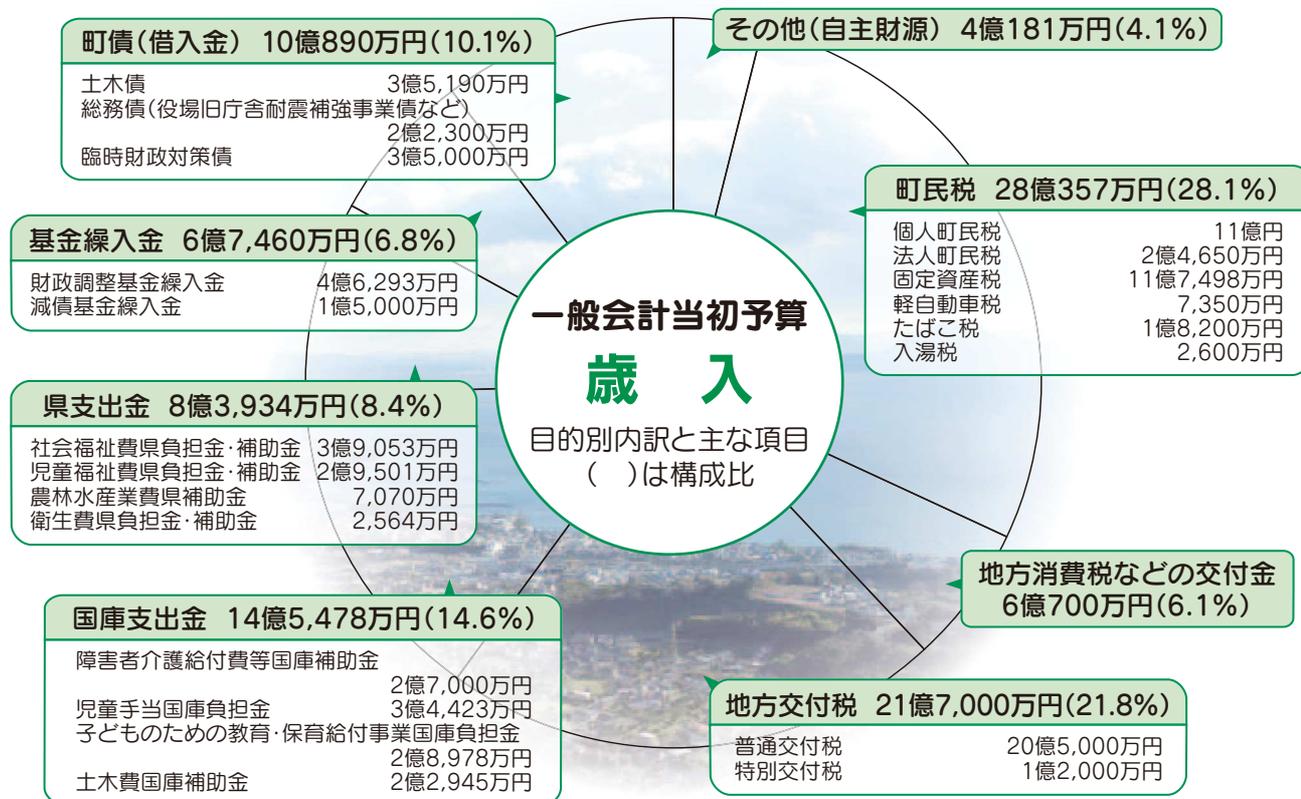
一般会計予算 99億6000万円

(前年度比2億5000万円減)

まち・ひと・しごと創生総合戦略の本格的な実施に併せ、「住みよさの発信と住み続けたいと思えるための環境整備」「理想とする結婚・子育て・教育の実現に向けた切れ目のない支援」「地域産業の活性化と観光振興による経済好循環の確立」「住民との協働による元気で住みよいまちづくり」の4つを基本目標に、まち・ひと・しごとの好循環と人口の維持・減少の抑制に積極的に取り組みます。



減少傾向が続いていた町税が前年に比べ1億6198万円(6.1%)増加、たばこ税を除く全ての税目において前年度当初予算を上回っています。これに伴い地方交付税が6000万円の減額となっています。また、各種事業の終了により国・県支出金が減少し、基金繰入金および町債も減少しています。



一般会計・特別会計の総額と前年度比

会計区分	一般会計	特別会計	特別会計					
			国民健康保険	簡易水道	公共下水道事業	漁・農集落排水事業	介護保険	後期高齢者医療
予算額	99億 6000万円	75億 7630万円	38億 1905万円	2477万円	8億 7573万円	7829万円	24億 8774万円	2億 9071万円
前年度比	2.4%減	0.2%減	1.4%増	39.7%増	7.8%減	4.2%減	0.2%減	1.5%増



パークゴルフで健康づくり

平成 27 年度 3 月補正予算 「地域のしごと創生」に重点を置く 地方創生加速化交付金を前倒し

**地方創生関連事業に
総額6780万円**

一億総活躍社会の実現に向けた緊急対応として28年度予算を前倒し、27年度3月補正で計上しました。「日出の幸ブランド化や大神・糸ヶ浜海岸線活性化、ものづくり産業の連携推進、六郷満山観光キャンペーン」に取り組みます。その他、27年度の決算見込みによる最終補正により一般会計の補正予算の総額は、歳入歳出それぞれ1億2283万円の減額となっています。

新 規 事 業

28年度新規事業

年金生活者等に給付金

高齢者全体の年金を含めた所得全体の底上げを図り、個人消費の下支えにも資するよう年金生活者等支援臨時福祉給付金を実施します。

(対象者)

28年度臨時福祉給付金の対象者のうち、28年度中に65歳以上となる方。また28年度対象者のうち、障害基礎年金または遺族基礎年金を受給している64歳以下の方です。

1億4000万円

健康管理システム導入

各種住民検診、母子保健事業、福祉・医療情報をデータベース化し、複合的に活用することで、住民に対して理想的な保健指導を実施します。

486万円

不登校児童に支援

中央公民館にフレンドリー広場を開設。週3回、不登校傾向にあ

る児童・生徒に対し生活習慣の改善や情緒の安定、学力補充のための相談・指導・支援を行います。

457万円

新規作物生産に支援

新たな特産品を生産しようとする個人や団体に対し、計画策定や資金調達の面で支援します。今年度は清水地区のわさび栽培です。

130万円

漁業者への支援

豊岡漁港の船台レールを改修



駅の無人化対策（豊後豊岡駅）

し、漁船の点検整備の円滑化を図ります。

●水産業の再生、漁村の活性化を図るため、藻場や干潟の保全活動を支援します。

414万円

JR駅無人化の解消

日出駅、豊後豊岡駅の無人化に伴い、利用者の利便性の維持と地域における治安悪化を防ぐ必要があることから、平日の一定時間に駅員業務をJRの退職者に委託します。

27年度補正予算 (全額国庫支出)

271万円

特産品のブランド力向上

かれい、牡蠣、鱧、潮トマト、ギンナンなど農水産物PRを大都市圏で行い、販路・消費拡大に向けた取り組みを行います。また「大神深江の朝市体験」を組み込んだツアーの企画で、観光客の誘致に取り組みます。

2010万円



整備を進めていきます（糸ヶ浜海浜公園）

大神・糸ヶ浜海岸線活性化プロジェクト

大神海岸線の中心的役割を果たす糸ヶ浜海浜公園の売店を活用した、まちづくりグループによる事業をサポート。宿泊施設や観光施設関係者、農業・漁業関係者、地元住民を巻き込んだ組織づくりを行い、地域全体の観光振興を図ることで交流人口を増やし地域活性化につなげる構想です。

2670万円

と 業 事 生 創 方 地

28年度地方創生事業

川崎工業団地の振興

旧テキサス工場跡地東南・西南棟の耐震工事と屋根の防水工事を行い、新たな企業誘致を目指します。

5867万円

企業立地の推進

企業立地促進条例に基づき企業誘致を促進するため、製造業や情報通信業など新設・増設する企業に対して助成を行います。

207万円

創業支援

創業支援事業助成金交付要綱に基づき、創業セミナーの開催や町内での創業者に対して助成を行います。

90万円

雇用の拡大と推進

新設・増設・新規事業参入により事業拡大のために新規雇用をする製造業などの町内事業所に対して補助を行います。

300万円

空き工場の利活用を促進

川崎工業団地利活用への



企業誘致を目指す川崎工業団地

ンサル料や担当職員の人件費などを計上。また空き工場利活用促進事業補助金交付要綱に基づき、新規進出企業に対して助成を行います。

1260万円

空き店舗への対策

空き店舗助成事業補助金交付要綱に基づき、町内中心商店街の空き店舗の解消を図るため、商店街への新規出店者や既存事業主が行う店舗改修費に対して助成を行います。

224万円

商店振興事業

町内飲食店等の活性化を目的に、スタンプリリー等のイベントを行います。

117万円

ハーモニーランドと連携

観光客誘致や定住促進につなげるため、イベント出演、新陽谷駅の装飾、住民票用紙の絵柄等にハローキティのキャラクターを活用します。

600万円

出会い応援

年間4回開催する婚活イベントを民間事業者に委託し、町内の会場で独身者に出会いの場を提供します。

72万円

移住・定住の促進

- 県外からの移住者に対して引越費用や不動産の売買賃貸借契約に要する仲介手数料など、住宅を移転するために必要な経費を補助します。
- 戸建住宅の新築または購入により、町内の転居や町外から転入する方に対し、定住奨励補助金を交付します。

子育て世帯が町内の賃貸住宅に移住した際に移住奨励補助金を交付します。

168万円

金を交付します。

737万円

子育てはっとクーポン

就学前の子どものいる家庭に対して、乳幼児一時預りやインフルエンザの予防接種などに利用できるクーポン券を支給します。

1053万円

不妊治療助成

高額な医療費のかかる不妊治療における経済的負担を軽減するため、新鮮胚移植、凍結胚移植、人工受精である特定不妊治療に対して助成を行います。

237万円

いきいき日町健康食育ポイントプロジェクト

健康・食育プランの普及を目的に健康づくりや食育推進事業に関する事業への参加や個人の取り組みに対してポイントを付与します。集めたポイントは家電製品や健康グッズと交換できます。

168万円

総務産業

議案等の審査結果

条例の制定

日出町行政不服審査法関連

行政不服審査法の施行に伴い関係条例を整備します。また、日出町行政不服審査会を設置するための条例を制定します。

陽谷駅駅舎新設

陽谷駅コミュニティ施設の新設および、自由通路の新設に伴い条例を制定します。

条例の一部改正

職員給与の減額

人事院勧告及び大分県人事委員会勧告に基づき職員の給与等を改定するとともに職員及び特別職の給与月額を期間を定めて減額するものです。

日出町税特別措置条例

半島振興法の改正及び地域再生法の規定により、固定資産税の不均一課税を実施するための一部改正です。

個人番号を独自に利用する

日出町行政手続きにおける

特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例を一部改訂します。

選挙出前投票を実施

選挙年齢が18歳以上に引き下げられることから3月14日に日出総合高校1～2年生(383名)を対象に出前投票を行いました。

選挙投票所が変わります

藤原地区の投票所は、現在の「ふれあいセンター」から「日出福祉センター」に変更になります。

防災行政無線電話応答装置

現在の防災行政無線では放送が聞き辛いとの指摘があることから、防災無線の放送内容を録音し、電話で聞き直すことができる装置を役場内に6回線設置します。

日出町営駐車場の設置

「役場北側駐車場」及び「陽谷駅前駐車場」と名称変更し、役場北側駐車場・月極3500円、陽谷駅前駐車場・月極6000円とします。

要望書の審査

日出町内堀区長 阿部忠雄氏他一同より提出の町道(堀一馬場先線)道路拡幅と置石排除の要望書。

【趣旨】町道(堀一馬場先線)の掘通り側において道路が狭く緊急車両・工事車両・普通車の通り抜けができないため道路幅の1m拡幅及び置石の排除。

【審査の結果】継続して再度調査協議をしていくよう担当課に指摘しました。

閉会中の審査

2月5日開催

日出駅周辺の駐車場問題

利用者の利便性を図るため、日出クリニック跡地を日出町土地開発公社で買収し、月極め・日極め・時間貸しを対象とした有料駐車場として整備します。

陽谷駅周辺整備

自由通路・駅舎等は、予定通り3月末までに完了予定。



新しくなった陽谷駅

但し新設部分の乗降口は、4月中旬頃からの使用で、全面的な完了は7月末頃です。

町内2カ所の現地調査

サンリオキャラクターの活用事業の取り組みで、ハイモニーランドの視察を行いました。次に、町道宮町線の通勤通学時の、自動車・自転車・歩行者等の離合に難があるということですが、事実上、拡幅は困難なため、県道への接合部から3本の電柱を道路外へ移動できるように、協議の要請を行いました。

福祉文教

議案等の審査結果

新たな学校の種類を制度化

現行の小中学校に加え、小
学校から中学校までの義務教
育を一貫して行う「義務教育
学校」を新たな学校の種類と
して規定します。

小規模な通所介護事業所

地域との連携や運営の透明
性の確保、また、市町村が地
域包括ケアシステムの構
築を図る観点から整合性
のあるサービス基盤の整
備を行う必要があるため
、地域密着型サービスと
して、平成28年4月1日
より地域密着型通所介護
に移行することになりま
す。

大分広域窓口サービス

各種証明書を、県内の
参加市町の窓口で交付を
受けることができるサー
ビスです。新たに日田市
が加わります。

子ども連絡所

連絡所の数は年々減少傾向
にあります。新規連絡所を増
やす努力が必要です。

フレンドリー広場

学校に行けない児童・生徒
の活動の場として、中央公民
館内に日出町教育支援セン
ター「フレンドリー広場」を
設置します。

開設日は週3回(月水金)、
活動内容は自主活動や共同活
動、学習活動などに加え進路
相談も行います。臨床心理士



老朽化したプールを視察

TPP調印の国会での批准を行わないことを求める請願

採決の結果 **8対6で可決**

【反対者】	佐藤 二郎
安部 三郎	工藤 健次
池田 淳子	岩尾 幸六
阿部 真二	【賛成者】
佐藤 隆信	白藤 昭義
森 昭人	土田 亮治
川西 求一	金元 正生
上野 栄蔵	岡山 栄蔵

【意見書主旨】

調印したTPP協定は、未
だその全容が明らかでなく、
国会決議に違反して重要5品
目も約3割、それ以外を含め
ると95・08%の税が撤廃され
る。よって「大筋合意」の詳
細と協定書本文を速やかに開
示し国会、国民の議論を保障
すること、農業と食の安全、
国民の医療を守るため、国会
決議に違反するTPP調印の
国会での批准を行わないこと
を強く要望する。

閉会中の審査

2月4日開催

現地調査

昨年11月に行ったPTA役
員との意見交換会で出された
要望事項のなかで、大神小中
学校区での通学路安全確認行
動の資料をもとに道路環境、

や社会福祉士、退職教員を教
育相談員として配置し、学
校・関係機関との連携はもち
ろん、保護者への支援にも取
り組みます。

道路交差点の歩道の安全対策
について現地調査を行いました。
また、豊岡小学校のプー
ルの現状を視察しました。当
委員会より関係部署に意見等
を求めていきたいと思えます。

議会活性化への取り組み

【議会改革特別委員会】

日出町議会議員 政治倫理規程

議員の政治倫理に関する規律の基本的事項を定め、議員の政治倫理の確立を図り、町民に信頼される民主的な町政発展に寄与することを目的とし(第1条) 11条からなる日出町議会議員政治倫理規程を制程しました。遵守しなければならぬ政治倫理基準を次のとおり定めています。

(一部抜粋)

「政治倫理基準」

第3条 議員は、次に掲げる政治倫理基準を遵守しなければならない。

- (1) 町民の代表者としてその品位と名譽を害するような一切の行為を慎み、その職務に關し不正の疑惑をもたれるおそれのある行為をしないこと。
- (2) 町民全体の奉仕者として行動し、その地位を利用していかなる金品の授受等をしていないこと。

災害発生時の 対応要綱

地震等の災害が発生したときに、議会が町災害対策本部と連携し、災害対策活動を支援するとともに、議員自ら迅速かつ適切な対応を図るため(第1条) 7条からなる災害発生時の対応要綱を定めました。

(一部抜粋)

「支援本部設置」

第2条 議長は、地震等の災害により町対策本部が設置された場合、これに協力するため議会内に災害対策支援本部を設置することができる。

「本部の任務」

第4条 災害情報を収集・整理し、町対策本部に提供するとともに、被災地及び避難所の調査を行う。

「議員の対応」

第5条 連絡体制を確立し、各地域における被災地及び避難所での情報収集を行い本部に報告すること。また各地域での活動に協力するとともに被災者に対する相談、助言等を行うこと。

議員食糧費を廃止 (政務活動費は従前から無支給)

これまで年4回開かれる定例会本会議の昼食代と年末の懇親会に係る費用について議会食糧費として支給されていましたが、協議の結果、全会一致で28年度から廃止することに決定しました。ただし、来客への茶・茶菓子・土産代など一部の食糧費は確保します。

また現在、全国で問題となっている政務活動費ですが、日出町議会では従前から支給はされていません。



税理士を招き企業会計の勉強会 (2月24日)



阿部 真二 議員
(大神地区)

問 少子化抑止の具体策は

答 効果的な取り組みは積極的に検討します

問 日出町の少子化抑止の具体的な取り組み内容は。また他の自治体に比べ先駆的な取り組みは。

福祉対策課長 子育て支援事業として病後児保育事業・ファミリーサポートセンター事業・利用者支援事業に新たに取り組みます。低所得者への放課後児童クラブの保護者負担金の減免も実施予定です。また新たな子ども貧困対策やひとり親世帯に対しての負担軽減措置を拡大します。先駆的な取り組みは児童心理士の相談日を月に2〜3日程度設けています。

など先進地で行っている対策を行う考えは。

福祉対策課長

子育て支援制度の中で一つずつ確実に実行していかねればならない課題をクリアした上で他の市町村に先駆けた対策を十分に内部で検討し、特に効果の期待できる対策を積極的に考えていきます。

保育園環境の拡充対策

問

認定子ども園に全園が移行した際の幼稚園と保育所の違いは何ですか。

福祉対策課長

対象児童の年齢と



教育・保育が充実します

問

その児童が保育に欠けるか否かが、最大の違いと言えます。認定子ども園とは幼稚園と保育所の機能をあわせ持った教育・保育施設となります。

福祉対策課長

保育士の処遇が変わると思いますが、どのようになりま

福祉対策課長

すか。また、保護者負担は。処遇改善は行政としても取り組むべき課題です。保護者負担は27年度より住民税額等により9階層を設定し負担金を定めています。

地産地消対策

問

日出産の食材を消費拡大する具体的な取り組みは。

農林水産課長

農産物直売所が多く開設され、売り上げも伸びています。漁業関係では深江港で仲買人を通じて消費者が直接魚介類を購入できる仕組みができています。PRとして城下かれい祭りなど各種イベントを行っています。

問

「地産地消の日」制定や条例化はできませんか。

農林水産課長

関係部署・団体と協議しながら必要に応じて制定していきます。

・その他、住環境整備、拡充対策について質問しました。

質問を終えて

保育料無料化など先駆的な施策を



岩尾 幸六 議員
(川崎地区)

問
愛媛県伊方原発の安
全性は

答
もう少しよく理解する
必要があると思います

問
今年1月19日に、臼杵・津
久見首長と伊方原発の視察を
行いましたが、原発の安全性
はどのように感じましたか。

町長
環境庁の監督下で、地震、
津波、安定対策など全て網羅
された新規の規制基準による
厳しい検査がなされています。
また、その基準は国の基
準より非常に厳しく設定され
事故を踏まえた様々な対策が
講じられていると感じまし
た。日出町は、30km圏までか
なり距離があると感じていま
すが、もう少しよく理解する
必要があると思います。ただ
し、安全かどうかというの
は、何とも申し上げられませ
ん。

日出駅周辺の問題

問
日出駅が無人化にな
ることですが、そ
の時期と今後の対応は。

政策推進課長
今年の3月26日のダ
イヤ改正時に無人化に
したいという提案があ
り、町長自らJR大分
支社に出向き提案の撤
回を求めましたが、計
画の変更にはいたりま
せんでした。今後の対応
としてJR九州から町
が委託を受け、町内の
JR退職者の方々に再
委託する簡易委託方式
を採用する計画です。

問
日出駅前の県道は、



無人駅にならずにすみまして (日出駅)

時間帯により渋滞しますが県
への要請は。

都市建設課長
県(土木事務所)の管理係
へ駅前交差点の改良等を昨年
度から幾度も要請しています
が、実施の方向へは進んでい
ません。今後も交差点の改良
案を提案しながら粘り強く県
と協議していきます。

空き家バンク

問
空き家を担当する課が、役
場内に2課ある理由は。

政策推進課長
政策推進課は、空き家の登
録から有効利用を推進し、移
住を促します。外観上壊れて
利活用ができない家は、空
き家対策特別措置法施行によ
る技術的な判断が必要なため
建築係のある都市建設課が担
当しています。

問
空き家バンク補助制度は契
約成立時の補助ですが、空き
家登録数を増やすために登録
時にも補助制度を活用できま
せんか。

政策推進課長
他の市町村では実際に補助
金を出しているところもあ
り、もっと調査を行い当町で
運用できるか検討します。

質問を終えて
日出駅前の渋滞緩和を早
期解決に



工藤 健次議員
(大神地区)

問
太陽光発電施設設置
指導要綱、限界では

答
ご指摘の通りです

問

昨年の台風15号の強風で九州7県の79カ所が損壊し、パネル固定用の杭が抜け架台の倒壊やパネルの飛散等が起きたことで、国も安全強化に乗り出したところです。指導要綱を無視して工事が進められるなどさまざまな問題が発生しており、指導要綱が限界にきている状況をどのように考えていますか。

政策推進課長

平成26年1月から指導要綱を制定施行し、5kmを超え事業に対し関係資料などの提出を求めています。要綱は、条例と違い権利を制限し、義務を課すことはできません。また、注意点や要望事項などをまとめたもので、法的拘束力はありません。ご指

摘の通りです。

問

条例制定に向けて検討した過程は。

政策推進課長

指導要綱制定後、条例を制定した自治体を調査したこともありましたが、制定するにはいたっていないのが現状です。

問

要綱の見直しや条例化を進めていく考えは。

町長

今の制度は、非常に課題が多く条例を作っても中身は一緒なので国に制度化をお願いしていく以外にないと思っております。



ここが「いこいの森」です

町有地の有効活用

問

黒岩グラウンド隣接の、通称「いこいの森」の活用は。

財政課長

68000㎡の原野で町の普

町も難しい立場に立っています。

政策推進課長

要綱は他市町村の状況調査をしながら、条例はどの部分が入られるか検討していきたいと思えます。

地方創生総合戦略

問

具体的な取り組みと独自性は。

政策推進課長

地方創生先行型10事業、地域消費喚起生活支援型4事業などで、27年度補正の町単独2事業費は、4680万円、他自治体連携2事業費は、2100万円となっています。日出町のブランド化を進めていく「日出の幸」ブランド化事業が独自事業です。

質問を終えて

住民の生活環境を守るために行政は、住民の声を真実に聞いて早急な法整備を



佐藤 隆信 議員
(大神地区)

問 農林水産業の年間の生産高の目標達成のための施策は

答 関係機関と具体的な取り組みについて協議します

問

日出町の2016年度の農林水産業の生産目標はどのようになっていますか。

農林水産課長

主な品目では米2億7千万円、キュウリ1億1千万円、かぼちや2200万円、柑橘2億円、銀杏2700万円、畜産17億円、椎茸3300万円、水産業3億3千万円です。

問

目標に対して具体的な施策を行う計画はありますか。

農林水産課長

生産者、農協や漁協関係機関と具体的な取り組みについて、協議していきます。

問

日出町の農林水産物のブランド品として白イボキュウ

リ、トマトを推進する考えはありますか。

農林水産課長

新規就農者には、キュウリ、トマトを推進しています。

問

1年間に何人の若い担い手を作る考えがありますか。

農林水産課長

認定農業者、意欲ある農業者を中心に補助事業や支援がおこなわれますので、そういう方を誘導しながら、担い手をつくっていきたいと考えています。

問

遊休農地対策に具体的な施策は。

町長



飲料水メーカー建設予定地

誘致対策

農業委員会と農林水産課と連携をとりながら4月以降はできるだけ一体化して推進し、有効な農地として活用できるような体制を組んでいきたいと思っています。

問

テキサス跡地に誘致した飲料水メーカーの企業はその後どうなっていますか。

商工観光課長

3月着工予定でしたが現在、資金繰りの面で融資決定を待っている状況です。

問

川崎工業団地の誘致企業は何社ありますか。

商工観光課長

既に現地視察を実施した企業または、予定の企業が4社です。

住宅、人口増加対策で区画整理計画を

問

低所得者には家賃の安い町営住宅が必要です。福祉センターの周辺から藤原迫にかけての区画整理を計画しませんか。

町長

農振の解除を含めて、土地の有効活用を考えるとこの観点からは、大変重要な事項だと思っています。十分心していきたいと思っています。



池田 淳子 議員
(藤原地区)

問 胃がん検診にピロリ菌検査の実施を

答 29年度から検査項目にと考えています

問

国が策定した「がん対策推進基本計画」の中には胃がん予防が国の方針として明確に位置付けられ、ピロリ菌除菌が胃がん予防に有用であることなども盛り込まれていますが、町で行うがん検診の中にピロリ菌検査を加えてはどうですか。

健康増進課長

胃がん予防教育で、以前より一歩踏み込んでピロリ菌感染について述べられています。平成28年度に地元医師会と検査実施体制を協議し、住民に十分周知した上で、29年度から検査項目に加えたいと考えています。

子育てほっとクーポン

問

利用者の多いサービスは。

福祉対策課長

最も利用者が多いのはインフルエンザの予防接種で、利用者全体の95・6%です。



おおいた子育てほっとクーポン

問

今後ニーズ調査を行う計画はありますか。

福祉対策課長

県との協議が必要になりますので、今現在での計画はありません。

問

日出町独自のサービスを増やす計画は。

福祉対策課長

今後増やしていきたいとは思っています。

チーム学校への取り組み

問

昨今の学校現場は業務が複雑多岐にわたり、教員に求められる役割が拡大しています。教員を中心に、多様な専門性を持つスタッフを学校に配置し、学校の教育力、組織力を向上させることを目的とした「チーム学校」への取り組みは考えていますか。

学校教育課長

町内の学校では、県費で主幹教諭やスクールカウンセラーの配置、町の補助で学校司書の全校配置、特別支援員

の配置を行っています。

問

スクールソーシャルワーカーの配置は。

学校教育課長

今は未配置ですが、国や県の事業を活用しながら配置の方向で検討を始めているところです。

問

専門性を持ったスタッフが配置されることにより、先生の負担は軽減できますか。

学校教育課長

適正に運用がなされれば間違いなく負担軽減につながるかと捉えています。

フッ化物の活用は

問

以前にも質問しましたが、その後の検討結果はどうなりましたか。

学校教育課長

先進校では大きな事故もなく進んでいることを視察してきました。薬剤師会と調整のうえ実施方法などを検討し、早ければ平成28年度後期からの実施を目安としています。



土田 亮治 議員
(藤原地区)

問 障害者差別解消法の職員への周知徹底は

答 学習会とパンフレットの配布をしました

問

平成28年4月、障害者差別解消法の施行に際し、職員に改めて徹底しなければならぬと思いますが、どのように行われていますか。

福祉対策課長

課内で、この法律の学習会を行い、制度概要についてパンフレットを作成しました。町民への周知は、日出町のホームページ、広報ひじへの掲載を予定しています。

問

職員向けガイドラインを策定すべきでは。

総務課長

ガイドラインは、努力義務であるため作成はしていませんが、他町村の状況を見ながら検討をしています。窓口では、聴覚障がい者に筆談や手

話等に対応し、また点字対応の体制もとっています。

問

町の公共施設の環境整備はどうですか。

総務課長

中央公民館、公園等に随時身障者用トイレを設置しているところです。また、庁舎内に点字ブロックを設置しています。

問

障がいを理由とする相談体制の整備と差別解消を図るための活動はどのように実施しますか。

福祉対策課長

相談体制については、既存の何でも相談、福祉対策課障がい

福祉係、障がい者相談支援事業所等の窓口対応と機能の充実を図ります。

専門組織の設置は

問

大規模事業に対する推進チームやプロジェクトチームといった、1課単独ではない専門組織編成の事例はありましたか。

政策推進課長

陽谷駅周辺整備、町中心部の駐車場、T-1日出工場跡地利用、新図書館建設、地方創

生総合戦略作成等でプロジェクトチームを設置し、意見交換等をしてきました。

問

1事業を通して同じメンバーで事務を行ってきたのでし

政策推進課長

通常の業務があるので頻繁に集まるということは難しいのですが、しっかり意見を出し合いました。

問

専門員となる職員を配置することが望ましいと思いますが、限られた職員数、多忙な通常業務の中で臨機応変な運営、対応ができるような組織作りになっていますか。

政策推進課長

残念ながらプロジェクトチームを設置しただけでは解決できない問題もあります。職員の本来の主業務等が忙しく時間的余裕がないことも現実です。

質問を終えて

障がい者、健常者が共生できる社会の実現を



身障者トイレを設置しています (大神回天公園)



金元 正生 議員
(日出地区)

問 給食センター建設、現在の状況は

答 最優先事業として、早急に進めます

問 喫緊の課題であり、教育振興計画にも早期に整備を進めていかなければならないとあります。町長も必要なものはプライマリーバランスを壊してでも行うという方針の中、具体的な進捗がみえませんが、現在の状況は。

教育総務課長 平成27年5月に検討幹事会を立ち上げ、場所、規模、設備、予算、スケジュール、運営方法等の基本的方針の検討を重ねてきたところです。

問 計画どおり29年度までに改築計画の策定ができますか。

教育総務課長 平成27年5月に検討幹事会を立ち上げ、場所、規模、設備、予算、スケジュール、運営方法等の基本的方針の検討を重ねてきたところです。



老朽化した給食センター

教育長

必要な用地が4千㎡となり、費用や候補地が限定されるので、慎重に検討している状況です。情報収集も含めて見定めていきます。

問

建設から30年以上経過して

いますが、耐震基準、衛生管理基準に問題は。

教育総務課長

耐震性は、基準に沿って建築されているものと考えています。衛生管理は、平成11年からドライ運用も図りながら、食中毒や異物混入の防止に努めています。

問

改築終了までに更に数年かかります。土地や建築材料、周囲の環境で経年劣化の状況も異なり、耐用年数も分からない状況にもなりかねませんが、その間の耐震や衛生面をどう確保するのですか。

教育総務課長

衛生基準ではドライシステムで、部屋も仕切らなければなりません。現在はビニールカーテンを設置している状況です。また、耐震は昭和56年が耐震基準の分岐の時期なので、問題はないと理解しています。

問

給食センターは工場区分になり、建設許可が得られるのは、本町では限られた一部の

場所となり、その地域では防災面でかなり問題があると思います。状況によっては無指定地域でも許可が得られるようですが、検討している候補地は。

教育総務課長

現在、工業地域、無指定地域を問わず検討しているところです。

問

改築に関わる費用の試算と財源確保も並行して進めていますか。

教育総務課長

試算金額は、10億2千万円と考えています。また、財源は財政担当課と協議をしながら最優先事業として進めていきます。

●その他、さざんか通り商店街及び周辺の活性化についての質問がありました。

質問を終えて

優先順位を明確に、選択と集中的な施策を

町民の 声

『豊かに活動できる
環境を大切に』



日出上仁王区
菅 英一

「昔はよく小学校の石垣で城取り遊びをしようとなあ（どんな遊び？）」「石垣を下から攻める組と上から防ぐ組に分かれて、上の組は登ってくる組に木ぎれや小石を投げてじゃまするんや」（あぶねえな）「いや、鍋ぶたみたいなものでよけながら登りよつたで（えー）」「本当に楽しかったなあ…これはとある日、日出小OBの方から伺った話です。さすがに当時のような城取り遊びはできませんが、今も校庭では子どもたちがにぎやかに実に楽しそうに過ごしています。

私は今年3月に日出小学校を最後に退職しましたが、在職中一つの楽しみがありました。それは休み時間に、ドッジボールや鬼ごっこ、縄跳び、一輪車、いろいろな遊具などで集団で元気いっばいに活動する子どもたちの姿に触れることでした。自分たちでルールを作り、自分たちでトラブルにも対応する。自由度が高いせいか、子どもたちが生き生きと輝いて見えました。そして、このような毎日を通して様々な感性が育ち人間力が高まっていくだろうと感じていました。

子どもたちの生活から「三問（空間・

時間・仲間）の減少」が進んでいる現実には確かにありますが、だからこそ、子どもたちのびのび過ごせる環境を確保することが重要ではないかと思えます。学校以外にも子どもたちが自由に遊んだり、活動したりできる場所は公共施設等を含めていろいろと存在します。

数年前、黒岩公園に新しい遊具が設置される時に役場の方から、小学生の声を聞きたいというお話をいただき全校児童に希望調査したことがありました。どの学年も興味津々で好きなプラン選びに喜々として取り組んでいました。遊具が完成して初めて全校遠足で出かけたときは、人気抜群で学年ごとに時間を区切って利用したほどでした。

日出町には、子どもの気持ちに寄り添おうとする行政の姿勢やどの地域にも温かい視線で子どもたちを見守ろうとする懐の深い土壌があります。遊びはもちろん、スポーツや文化的活動等いつまでも子どもたちの元気な声が響き合う環境を守り、大切にしていきたいものです。私も自分にできることを通して子どもたちと関わっていききたいと思えます。

議会を 傍聴してみませんか

今、町ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があつて、どう進んでいるのだろうか。あなたの身近なこともかもしれません。簡単な手続で、だれでも傍聴ができますので、是非おいでください。

6月定例議会の予定

- 6月3日 議会運営委員会
- 10日 本会議（初日）
議会運営委員会
- 13日 本会議（議案質疑・一般質問）
- 14日 本会議（一般質問）
- 15日～16日 常任委員会（予算）
- 17日・20日 常任委員会（所管）
- 21日 常任委員会（予算）
全庁協議会
- 22日 議会改革特別委員会
議会報編集特別委員会
議会運営委員会
- 24日 本会議（最終日）

編集後記



新年度を迎え、新しい環境にも慣れたでしょうか。議会に於いても3月定例会で、新しく正副議長が決まり、予算・総務産業・福祉文教の各常任委員会の委員も変わりました。また、議会中継配信に向けてのプロジェクトチームも発足しました。これは議会改革の一環として、議会の傍聴に來られない方にも議会の様子を知ってもらうための試みです。

今後新議長の下、気分新たに、町民の皆様にとつて分かりやすく、開かれた議会を目指して研鑽に努めてまいります。

（上野 満）

編集委員長	森 昭人
副委員長	土田 亮治
委員	池田 淳子
委員	上野 満
委員	阿部 真二
委員	岡山 栄蔵